

南笠東学区人推協だより

絆

きずな

第22号

2022年3月1日

南笠東学区
人権教育推進協議会

令和3年度人権教育推進協議会の取組について

人権教育推進協議会会長 山本 敬二

皆様 日頃は何かと人権教育推進協議会(人推協)にご協力いただき、誠に有難うございます。

ここ2年超、新型コロナウイルスの世界的感染拡大について、未だ収束の見えない状況が続き、行事も対策を講じながらの実施や中止など、大変ご苦労されていると思います。

われわれ人推協も、オンライン会議(Zoom Meetings)をいち早く取り入れ、自宅等からの会議の参加も可能になるよう進めており、参加者の皆さまからも好評を得ております。

「第3講座」については草津市の地元にありますNPO法人やんちゃ寺代表佐藤すみれさん(臨床心理士・カウンセラー)をお招きし、NPO法人の活動状況などをお聞きました。

中学生から二十歳までの非行少年等に対して、反社会的意識の緩和と社会貢献に関する事業を行い、個の尊重が守られた場での自発的な活動を通して、外的適応と内的適応両面の健全育成に寄与することが目的で設立され、活動に参加の皆様にはまず理解に努めていただき、個性を開花させてあげるのだと。

そして、「実践発表のつどい」は、昨年度は感染防止策として2部制でマスクを着用しての実施としたものの今年度は残念ながら中止せざるを得ない状況になりました。人権標語・作文・ポスターにたくさんのご応募をいただきあらためて御礼申し上げます。

今われわれは見えない敵ウイルスと負のスパイラル、病気、不安、差別で人と人の信頼関係や社会のつながりが壊されています。皆様を取り巻く環境も、日々刻々と変化しています。一人ひとりの行動が周辺の人々や日本いや世界を守ることにつながりますので、まずは第一歩を踏み出していただくことをお願い申し上げます。

～滋賀県の県民運動共同メッセージ～

『STOP!! コロナ差別、NO MORE!! ワクチンハラスメント』

新型コロナウイルス感染症に関連したあらゆる人権侵害の防止と被害者の方への支援。

そして 未来に誇れる人権尊重の社会づくりに邁進します。



令和3年度管外研修「長浜旧開智小学校」を訪ねて

人権教育推進協議会副会長 浅井 利治

令和3年度の南笠東学区人権教育推進協議会の人権管外研修は、昨年の12月6日(月)滋賀県初の小学校として設立された長浜市の旧開智小学校を、長浜市の観光ボランティアの方の案内でフィールドワークにより研修を行いました。当日は、あいにくの雨模様でしたが13名の方に参加いただきました。

長浜市は、近年黒壁スクエアに代表される観光都市として発展をしています。明治時代には、長浜の実業家であった浅見又蔵が私財を投じ慶雲館を建設されて、現在は市の施設で長浜盆梅展の会場になっています。

この浅見又蔵氏など地元の方の寄付により、明治4年に滋賀県で初めての小学校として設立されたのが旧開智小学校です。明治初期は

寺子屋で一部の児童しか学べない時代でしたが、新時代を見据え子弟への学力の向上の熱い思いを寄せられてきたなどのお話をお聞きし、一人ひとりの教育を確保し学力向上に努めることが、人権を大切にするにつながることを、今回の管外研修で学ぶことができました。

旧開智小学校は、昭和12年に現在の地(元浜町)に移築され、現在は民間施設として利用がされております。木造3階建ての八角塔屋を載せた準洋風建築物で見ごたえがあり、令和3年には創立150周年を迎えられました。

旧開智小学校



研修の様子

令和3年度 南笠東人権教育推進協議会の町内懇談会モデル町よりの取組報告

令和3年度モデル町 狼川町町内会 副会長 芝田 光正

今年度、学区内のモデル町内会に選ばれましたが、感染が拡大、8月には緊急事態宣言が発出される中で
の取組みとなりました。草津市同推協の講座については感染拡大により市内全体から学区単位での開催と
なったことから、7月12日からの1週間を南笠東学区人権ウィークとして、第1・2講座
と3講座がセンターでの開催となり、参加者人数を限定しての学習会となりました。



更に第4講座については緊急事態宣言中のため中止となり、「同和問題の理解や課
題の解決に関する学習」の機会を逃しました。

このような状況下、町内別学習懇談会については「人が集まらない形式での人権学習」
を実施するよう人権センターより指導があり、当町内会で学習内容の検討を行った結果、第33回いのち・愛・
人権のつどいがオンラインセミナー(動画配信)で開催されることを知り、10月3日(日)を「狼川町人権の日」
として町役・顧問全員にインターネットで動画を視聴する自主学习することにしました。

講師の諏訪中央病院名誉院長 鎌田實さんが「命を支えるということ〜“がんばらない”けど“あきらめ
ない”」と題し健康寿命を伸ばすために気を付けたいことについての講演でした。物忘れから認知症へ進行、
物忘れ外来の受診者の約30%が軽度認知障害(MIC)と診断されているそうです。コロナストレスで日本人
はフレイルで介護保険のお世話になっている人が一番多いといわれています。フレイル(虚弱)予防として、コ
グニサイズ、スクワット、かかと落としを実践。食べ物については野菜(350g/日)とタンパク質(魚介、肉、
卵、大豆、豆腐、納豆、牛乳、チーズ、ヨーグルト)を多く取り90才になっても介護保険のお世話にならないた
めの貴重な学びでした。



人権学習・管外研修に参加して

令和3年度モデル団体 まちづくりセンター自主教室代表
いきいき健康エアロビクス 樋口 智佳子

私たちは、毎週木曜日の10時より、エアロビクスを通じて心身の健康を目指しています。
この1年で、人権学習・管外研修にて改めて認識した人権問題の根強さについて、
メンバーにシェアし、意見交換を行いました。



私たち一人ひとりに特別なことは出来なくても、人権意識を問い直し、問題に向き
合う姿勢や考える機会を持つことが大切だと感じました。今後も、元気一杯の先生
や仲間と楽しく活動する中で、一步ずつ人権意識を高め合っていこうと思います。

健康いきいきエアロビクスにご興味を持ってくださった方のご参加もお待ちしております。



人権センターのとりくみについて

草津市立人権センター 南笠東学区担当 諸戸 正樹

コロナ禍により、草津市も人権に関わる取組の中止や、「人が集まらない形式での人権学習」として町内学習
懇談会の実施をお願いせざるを得ませんでした。

そんな中、町内学習懇談会推進者研修講座(第1・第2講座)は、本学区の協力の
もと、開催することができました。センターでも、つどいのインターネット配信、



新型コロナウイルス感染症から人権を
考える小冊子の発行、「めざめ」に即したDVDの作成など、この状況に対応す
べく工夫を重ねてきました。



本学区の「この状況だからこそ学びを」という熱意に刺激を受けた
一年でした。今後も、一人ひとりが人権問題を解決する当事者とし
て考えられる「学び」の提供を続けていきたいと思っています。

いのちを守る、暮らしをつなぐ

草津市赤十字奉仕団南笠東分団 岡田 やよい

赤十字奉仕団は、赤十字の使命とする人道的な諸活動を実践する人々が集まって結成されたボランティア組織です。今年度私たち南笠東分団は、人間の命と健康、尊厳を守るための奉仕活動について、再考を重ねてまいりました。

まず、小学生に私たちの存在を知ってもらうため、6月に5,6年生の環境委員会メンバーとともに、「地域内のゴミ拾い」を実施。各々の気配りで住み良い町が保てることに気づきました。



分団学習会の様子

後日、草津市赤十字奉仕団の佐々木委員長をお迎えして開催した分団学習会では、一人ひとりの人権を踏まえた地域との密接な活動方法をお聞きし、いかなる差別もせず、傷ついている人には敵味方なく手を差し伸べていくことが重要だと再確認しました。今後も自分でできることから、傍観せず、「一声ふれあい運動」を心がけてまいります。



インターネットを正しく恐れ楽しく活用しよう！

南笠東小学校 PTA 人権教育推進委員会 会長 松田 佳織

コロナ渦においてGIGAスクール構想は急激に加速し、インターネットは子ども達にとってより身近な存在となっています。しかし、その一方で、スマートフォンやゲーム利用時間の増加、オンラインゲーム上でのトラブルなど人権課題も浮き彫りとなっています。

そこで、『ネット社会の落とし穴～子ども達を守るために～』と題して、滋賀県人権センター松浦広明先生のご講演を、保護者・地域対象にオンデマンド配信を行いました。

どんどん進化するインターネット社会に潜む人権課題をしっかりと理解し、子ども達を危険から守り、未来の学びを応援していきましょう。



玉川中学校の取り組みについて

玉川中学校 教諭 藤井 啓輔

6月17日(木)に「情報モラル学習会」を実施しました。NIT 情報技術推進ネットワークの篠原嘉一さんを講師としてお招きし、『将来に不安を残さない SNS の注意点～ネットトラブルから身を守るために～』と題した講演では、PTA 会員・生徒ともに真剣に聞き入る姿が見られました。

「わからないことはすぐ簡単に調べられるが、自分で苦労して調べたこと、考えたことというのは、必ずどこかでいつか生きてくる…子どもに話しても理解してくれる気がしました。」「データを消せないことや、データを抜き取られてしまうことを、再度子どもと話し合ってみようと思いました。」と講演後の感想にもあり、家庭・地域ぐるみで子どもたちを守る取り組みとなっています。



人権作文 優秀作品

例年2月に開催していた「実践発表のつどい」ですが、今年度はコロナウイルス感染症拡大防止の観点から中止しましたので、紙面にて作文の発表をいたします。

外国人だから

玉川中学校 2年 龍 杏奈

以前、学校の人権学習でゴミ捨て場に分別できていないゴミが捨ててあり、そのゴミを捨てたのは引っ越してきた中国人の家族だと決めつけている動画を見ました。実際そのゴミを捨てたのは別の人で中国人の家族ではないのに外国人だからという理由で決めつけていました。

話をしたことがないのに、外国人だからという理由で何でも決めつけるのはだめです。この動画では実際に話をしてお互いを家に招待するほど仲良くなっていました。しかし、現実では動画みたいにうまくいく人もいれば、うまくいかない人もいます。



私は4さいのときに中国から日本に引っ越してきました。新しい友達をたくさん作りたくて、日本語を頑張って勉強しました。保育園には年長から入りました。初めて保育園に行った日のことは今でも覚えています。朝はいつもより早く目が覚め、とても緊張していました。保育園につき、みんなにたくさん話しかけ、友達をたくさん作ろうと思っていたけど、自分が勉強してきた日本語が通じるかどうか、もし通じてもイントネーションがへんで笑われたりしないかが心配でなかなか話しかけることができなくて、一人ぼっちでした。しかし、勇気を出して近くにいた人に「いっしょに遊ぼ」と声をかけるとその人は「いいよ」と笑顔で言ってくれてとてもうれしかったです。自分の日本語が通じると分かり、そこからたくさんの人に話しかけ、たくさんの友達を作りました。みんなにはよく「日本語上手だね」と言われます。もし、あのとき日本語を話すことができなかつたら友達はたくさんできていなかったと思います。



私は日本語を話せたことで外国人だからという差別をされず、みんなと仲良くなることができました。



小学校4年生のとき、中国人の女の子が転校してきました。私はその人とのクラスが違いましたが、同じ中国人で家も近かったことからとても仲良くなりました。しかし、彼女は日本語があまり話せなく、クラスでは一人であることが多いと言っていました。彼女は日本語を話せなかったことで周りの人から話しかけられず一人で悲しい思いをしていました。

現実では友達がたくさんでき、楽しく過ごしている人もいれば、外国人だからという理由で差別をされている人もいます。差別はぜったにやってはいけません。頭では分かっているにもかかわらず行動に移せません。その理由は、外国人は自分たちとみためや話す言葉が違いこわいからだと考えられます。しかし、外国人からすると自分は何も悪いことをやっていないのに外国人だからという理由で差別をされると、とても悲しくなります。もし、自分が用事で海外に行って現地の人に外国人だからという理由で差別されるのを考えてみてください。絶対にいやですよ。このようないやな思いをしている人が今、日本にいると思うととても悲しくなります。いつか、そのような人はいなくなって、みんなで楽しく過ごせる日がこればいいなと思います。



いじめ

玉川中学校 2年 内田 飛雅

「いじめなんてなくなっしまえ」それは誰もが望んでいることでしょう。しかし、だれもが望んでいるのになぜいじめはこの世から消えることはないのでしょうか。少し考えてみました。

一つはいじめをしている側にとってはいたずらやいじりに罪悪感が生まれにくいからだと思います。いじめをすると、子どもも大人も同じで、支配欲というものに満たされます。人間というのは他人よりも上に立ちたい、自分より劣っている人を見つけて優越感に浸りたいという欲求があります。だから強い人は弱いものを言いなりにさせて支配しようとするのだと思います。



また、まわりのいじめられていない人は、自分がいじめられたり、支配されるのを避けたいから何も言わない。そしていじめをしている側、支配者の側につく安全さを学ぶのだと思います。

このようなことがあるから、誰もがいじめのない世の中を望んでいたとしてもいじめが消えないのだと思います。しかし、いじめを消すことができなかつたとしても、防ぐことならできると思います。なので私は、いじめを防ぐためにできることを考えてみました。

私まず、いじめにあったときに、相談できる、信頼し合える友達を持つべきだと思います。それは両親や先生でも同じです。自分が困ったり悩んだりしたときに、安心して相談できる人を作るのが大事だと思います。そうすれば、たとえ心に深い傷をおったとしても、不安や苦しみの波が押し寄せてきたとしても信頼し合える友達や両親、先生たちがきっと強い味方になり、必ず助けてくれるはずですよ。



他には、相手の気持ちを考え、自分なりに判断することも大切です。たとえ自分に罪悪感がなかつたとしても、相手からすれば罪悪感があるように感じてしまうかもしれません。そのせいで深く傷ついてしまうかもしれません。なので自分の気持ちだけを尊重するのではなく、相手の気持ちも尊重し考えるべきだと思います。

そしてもう一つは、いじめをしている側のかかえる問題を解決することです。いじめをしている側の多くは、心や家族の問題をかかえています。家族では、子供に関心のない家庭や、育児放棄などがあるそうです。だから、いじめをしている側ともしっかりと向き合うことも大切だと思います。

いじめはどんな理由があろうとも決してしてはいけなく、許してはいけません。いじめによってその相手の身も心も、そしてその人の思いも簡単に壊し、殺すことができてしまいます。それなのにいじめというものはこの世から消すことのできないものです。しかし、いじめを消すことはできなくても、いじめを止めることならできます。なので私は、少しでも多くの人をいじめから救えるように日々努力をしていきたいです。



エス ディ ジー ス
SDGs がめざすもの

「誰ひとり取り残さない」を大切な理念とし、
貧困、不平等、気候変動など、人類が直面する課題を解決するため、
2015年、国連はすべての加盟国の合意で、
2030年までに達成すべき具体的な目標を立てました。

それがSDGs「持続可能な開発目標」です。

「めざめ」第44集より

身近な人権について考えよう

玉川中学校 1年 上園 菜々美

みなさんは人権について考えたことはありますか。人権という言葉聞いてピンとくる人はなかなか少ないと思います。なので今回は、私が実際に体験した話と、体験して思ったことと、これから気をつけることを伝えたいと思います。

昔、私が友達と話しているとよく「あの子があなたの悪口を言ってたよ。」「あんまり近寄らないほうがいいよ。」などと友達から聞いた悪口などをそのまま、本人などに伝える人などがいます。私はそれを聞いた時に、「なんで私に伝えるんだろう」「わざわざ言ってなんの意味があるんだろう」などいろいろな感情がありました。正直私は、それを聞いていい気持ちにはなりません。伝えてきた人は悪気がないのかもしれませんが。逆に良いと思ってやってしまったのかもしれませんが。ですが伝えられた人はどうでしょうか。たとえ悪気がなくても、そういうことはやってはいけないことだと思います。伝えられた人は、言ってなんの得にもならないし、相手はとても悲しい気持ちになると思います。

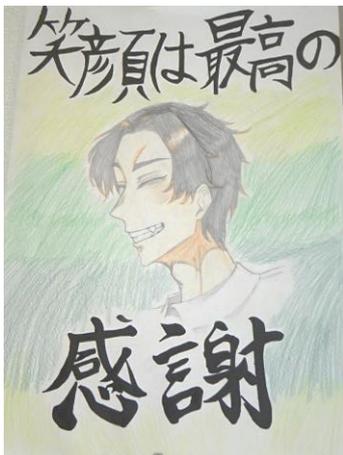


小学校で中学校でも似たような話を聞いた人は多いかもしれませんが。ですがそれくらい、とても大切なことで伝えた人はすぐに忘れていくかもしれませんが、言われた本人は、ずっと心に残ると思います。ほかのことでもたとえば自分は良いことをしたと思っていても、相手からしたら、とても嫌なことかもしれません。

みなさんは自分がする行動ひとつ、ひとつを気をつけていますか。正直私は、あまりお手本となれるような行動をとれているとはあまり思えません。なので、これからはいろいろな人のお手本となれるように毎日、ひとつひとつの行動を気をつけて毎日を送っていかないといけないなと思いました。なので私が今回、人権について考えたことは、自分ひとりで満足して終わらずに、相手の気持ちを考えて行動しようと思えるように、とても考えさせられて、良い経験になったんじゃないかなと思いました。



南笠東小学校人権ポスター優秀作品



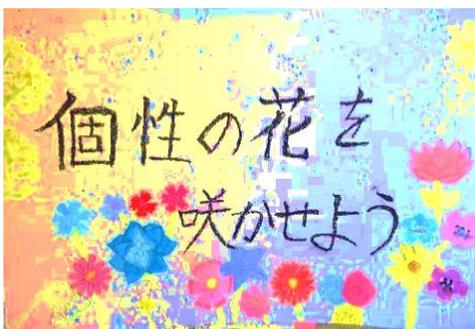
山崎 春花(小6)



畠中 夏希(小6)



平井 理央奈(小6)



西田 清乃(小6)



松島 加弥(小6)



小谷 梓華(小6)

「人権学習をして」

南笠東小学校 4年 市井 絵奈

みんなが「しあわせ」に学校で生活することができるようにするために、私は誰にでもやさしくしてあげたいです。なぜなら、一人だけきびしくして他の人にやさしくしていると、きびしくされた人がかわいそうだからです。だれにでもやさしい気持ちを持ってこれからも友達と過ごしていきたいです。

もう一つは、悪い事を言っている人がいたら止めてあげたいです。なぜなら、2年生の時に悪い事を言っている人がいました。けれども私は止めることができませんでした。私はあの時のことは何で止めなかったんだろうと考えていました。たぶん自分も悪い事を言われなくなかったんだと思います。でも、あの時に止めてあげなかったことは今でも後悔しています。なので、これからは、悪い事を言っている人がいたら止めてあげることががんばっていきたいです。

最後に、困っている人がいたら助けてあげたいです。なぜなら、私が困っていた時に友だち助けてくれたことがあります。その時はすごくうれしかったです。だからこそ困っている友達がいたら助けてあげたいです。



「人権学習をして」

南笠東小学校 4年 城内 新

みんなが「しあわせ」に学校で生活することができるようにするために、ぼくは、「いじめ」や「けんか」が無かったらみんながしあわせに過ごすことができるのではないかと思います。その理由は、僕ではないんだけど、二年生か三年生の時に友だちがけんかをしているのを見て、どちらも腹が立っていて、とても怒って言い合っているのを覚えています。けんかをする、自分だけでなく、相手も、その周りにいる他の友だちも嫌な思いをしていると知りました。だからぼくは、なるべくけんかをしないうちでおこうと思いました。もしけんかになりそうな時には、自分だけでなく、相手のことも考えてやさしい言葉を使うように心がけています。

そしてもう一つの、「いじめ」もだめだと思いました。いじめがあったら、みんながしあわせになることができないからです。自分さえいいのではなく、周りの友だちがみんなしあわせに過ごすことができるようにこれからもがんばっていきたいです。



「なんだろう」

南笠東小学校 4年 美濃 きぬか

私は、自分の長所は何と聞かれたときすぐに思いつきませんでした。はずかしいと、思ったのもありますが本当に、なんにもありませんでした。道徳のつくればいいんでしょの話の主人公のようにきつといきませんし、こまっていました。元気なところ？絵がまあ上手なところ？短所は、道徳の話のように、いっぱいすぐおもいつきましたが、長所は長所だけは、あまりおもいつかなかったのです。

そのとき、先生がアイデアがほうふな所と言ってくれました。そんなこと三年か二年生のとき友達がたしか言ってたことをおもいだしました。私はそんな長所があるんだときびきました。それからあまりすききらいがないということなどもみつけました。

自分は気づいていない所で、まわりの人は自分のよさを知ってくれていることがうれしいと感じました。これからは自分でもいいところを見つけられるようにしたいです。



「ぼくのいいところ」

南笠東小学校 4年 前田 碧空

ぼくは自分のいいところが思いつきませんでした。さいしょは、悪いところしか思いつきませんでした。道徳の学習をすすめていくと、友達の悪いところが思いつきます。ぼくは自分がすごくいやになりました。すると、友達から「うんどうしんけいがいいよ。」と言われました。でも他にももっとすごい人がいるから長所じゃないと思ってしまいました。しかし、道徳の学習でみんなも長所を聞いていると、「ぼくもすごいところあるやん。」と気づきました。ぼくは自信をもったほうがいいと気づきました。ぼくはすごくないと思っていたけど、自分に自信をもったら、どんどんいいところが思いつきました。そして、友達のいいところも思いつきました。

自分に自信をもつことで、自分や友達の長所を見つけられることにおどろきました。ぼくはもっともって自分のいいところや友達のいいところをいっぱい見つけていきたいです。毎日一つは見つけれたらいいなあ。





人権標語・作文・ポスター優秀作品



標語・作文・ポスターにたくさんのご応募をいただき、ありがとうございました。

一般の部 標語

ネットで拡散 その言葉 もう消えないよ 消せないよ
 違いがあつてあたりまえ 認めて広げる共生社会
 あいまいな 憶測が生む コロナ差別
 なくせ いじめ ふやせ 友達 目ざせ 笑顔
 受けた心の傷 どんなワクチンでも治らない
 目でうったえる君を ひとりぼっちにさせへん

健康体操自彊術 谷口 昌子
 民生委員児童委員 竹下 敬二
 狼川町 菅原 知子
 狼川町 菱田 洋子
 どんぐり 奥村 敏夫
 コスモス 小林 絹子

南笠東小学校

標語

人権は あればあるほど ちががある
 思いやり みんな笑って うれしいな
 友だちと いっしょにわらお けんかなく
 世界中 えがおの花の 花畑
 思いやり みんなうれしい 自分もね
 学校を 温めようよ えがおでね

幸田 蓮生
 鈴木 遼太郎
 畑 桃和
 岡田 日華里
 樋口 穂香
 山本 杏樹



南笠東小学校30周年記念
マスクットキャラクター
こころちゃん

作文

「人権学習をして」 城内 新
 「なんだろう」 美濃 きぬか

「人権学習をして」 市井 絵奈
 「ぼくのいいところ」 前田 碧空

ポスター

「笑顔は最高の感謝」 山崎 春花
 「その一言がだれかを救う」 畠中 夏希
 「個性の花を咲かせよう」 西田 清乃

「見つけようそれぞれの個性」 小谷 梓華
 「あなたがいるから今がある」 松島 加弥
 「ありがとうそのひとことで
 笑顔になれる」 平井 理央奈

玉川中学校

標語

優しさの 数だけ心に 花が咲く
 個性を認めあえる 豊かな心を育てよう
 やめようよ 自分がされて いやなこと
 いのちとは ひとり、ひとつのたからもの
 名指していこう みんなが笑顔で くらす世界
 けなすより 相手のいいこと 探そうよ
 思いやり あなたの言葉で 救われる
 考えよう 相手の気持ち 思いやり
 本当に 送信していい? その言葉
 本当に 言ってもいいの? その言葉
 その発言 相手の気持ちを分かっている?
 「まあいいや」 見て見ぬふりした それいじめ

児玉 瑛祐
 木村 美咲
 龍 杏奈
 西田 征成
 山村 直太郎
 野間 優貴
 坂本 葵
 長尾 凜
 丸山 翔平
 水谷 美緒
 白坂 真一朗
 山本 柚



玉川中学校マスクット
たまぞう

作文

「身近な人権について考えよう」 上園 菜々美
 「外国人だから」 龍 杏奈
 「いじめ」 内田 飛雅